



ようこそ松浦へ！ 絆深まる国内交流

ホークス交流・生徒学習交流事業

◆ホークス交流

8月6日から10日にかけて、北海道鷹栖町の児童6人が本市を訪れ、本市の児童6人とともにホークス交流に参加しました。

今回は、鷹島の埋蔵文化財センターガイダンス施設を訪れたり、海水浴や、船釣りなどで交流を深めました。

また、9日の登校日には受入家庭の児童と共に平和学習に参加し、恒久平和を祈りました。

送別式では、来年1月の鷹栖町での再会を約束し、鷹栖町の児童たちは、松浦を出発しました。



◆生徒学習交流事業

8月8日から11日にかけて、長野県木曾町の中学生8人が本市の中学生と学習交流を行いました。

木曾町の生徒たちは、松浦市の生徒宅にホームステイをしながら、松浦市の生徒とともに九州液化瓦斯福島基地を訪れたり、船釣りなどを体験しました。また、鷹島中学校の平和集会にも参加し、同校の生徒と共に平和への祈りを捧げました。

長崎の夏を十分体験した生徒たちは、ホストファミリーとの4日間の思い出とともに松浦を出発しました。



咲かせよう！ 人権の花

～「人権の花運動」の取り組み～

「人権の花運動」とは、花の種子などを学校に配布し、次代を担う子どもたちが協力し合って花を育てることにより、生命の尊さを実感しながら、その中で豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得することを目的に全国各地で実施されている人権啓発活動です。

本市では、平戸人権擁護委員協議会松浦市委員（前田公子副会長他7人）の協力のもと、法務省からの委託事業（地域人権啓発活動活性化事業）を活用し、毎年市内小学校2校の持ち回りで「人権の花運動」を実施しています。

今年度は、この運動の一環として、青島小学校と福島養源小学校で、人権の花である「ひまわりの花」の栽培に取り組んでいます。

本市の人権擁護委員が、7月16日に青島小学校、8月21日には福島養源小学校を訪れ、子どもたちと一緒に花の手入れや花壇の草取りを行いました。

両校で大事に育てられた「ひまわりの花」の栽培記録は、12月に開催予定の「人権講演会」において、会場施設内に展示されます。



▲青島小学校



▲福島養源小学校

